

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【225】
2. 日 時：令和2年6月17日 10時00分～11時40分、14時00分～17時10分
3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

名倉安全管理調査官、江崎企画調査官※、植木主任安全審査官、
宇田川主任安全審査官、岸野主任安全審査官※、津金主任安全審査官※、
羽場崎主任安全審査官、三浦主任安全審査官、小野安全審査専門職、
服部安全審査専門職※、山浦技術参与※

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 建築総括担当部長 他18名※

5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書について、令和2年6月10日及び令和2年6月15日提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【原子炉建屋の耐震性についての計算書に関する補足説明資料】

- 補強工事による重量増加について、建物・構築物、機器・配管系ごとに増加した重量の内訳を説明すること。

【原子炉建屋の地震応答計算書、原子炉建屋の地震応答計算書に関する補足説明資料】

- 原子炉格納容器コンクリート部の重量増加を考慮した割増係数について、底部の鉛直方向の設定の考え方を説明すること。
- 主排気筒を原子炉建屋の最大応答加速度比を用いて検討していることについて、排気筒が柔であることを考慮した検討結果を説明すること。また、その他の施設でも建屋の床応答を設計で使用しているもののうち柔なものについては、柔であることを考慮した検討結果を説明すること。

【タービン建屋の地震応答計算書に関する補足説明資料、タービン建屋の耐震

性についての計算書に関する補足説明資料】

- 評価点130033のEW方向加振時のEW方向の加速度応答が他の評価点と傾向が異なる理由を説明すること。
- 3次元FEMモデルの固有値解析結果について、ねじれモードに関する考察を説明すること。
- 機器へのねじれの影響がないとした根拠について、3次元FEMモデルの水平方向の応答比較結果の考察を充実させた上で、詳細に説明すること。

【原子炉建屋の地震応答解析における補助壁の曲げ変形について】

- 補助壁が負担するせん断力について、個材曲げモデルと同様に等価剛性モデルについても評価結果を説明すること。

【工事計画認可申請に係る論点整理について】

- 既工認時及び今回工認時の設計フローにおいて、設計用地震力の内容が異なるため、相違点を明確に説明すること。
- せん断力の負担割合の検討に用いた3次元FEMモデルについて、B3Fを対象とする代表性を説明すること。
- 補助壁の取扱い並びに各部材の設計体系の合理性及び結果の保守性の説明の中で、補助壁が負担するせん断力の評価結果を説明すること。

【原子炉格納容器コンクリート部の耐震性についての計算書】

- 解析モデルについて、中間壁の境界条件を説明すること。
- 計算機プログラム（解析コード）の概要について、設計検討に用いる解析内容に係る検証及び妥当性を説明すること。

【原子炉格納容器コンクリート部の耐震性についての計算書に関する補足説明資料】

- 先行実績を踏まえ、温度分布解析に基づき事故時の温度分布が基礎版の剛性に与える影響を説明すること。

(3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他
なし